| 学校番号 | 112 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の美術１（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

過去の芸術から学び取り、感受性を養うための鑑賞、自主的な表現をする創作、互いに作品を批評し合う意見交換（合評）を学習します。
美術以外の表現、手法を違うジャンルではなく同じ地平という意識で捉え、動機や新規さを評価し合える場としての美術の時間を目指したい。
表現するということを生徒が個々に尊重し合い、主体性をもち制作する姿勢を学ぶ。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質、能力を育成することを目指す。

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点についての理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。<br>意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 | 造形的な良さや、美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり位置意識をもって美術や芸術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 似顔絵を描こう | 好きな人物の顔を、写真を見ながら描く | a:画材や技法について理解している。<br>b:構図や色彩の構成についてアイデアを練っている。<br>c:絵を描いたり、人物や写真を観察したり、自主的主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている | 作品 | レポート<br>学習プリント | 観察<br>振り返りシート |
| | デッサン | 木炭で工程の木を描く | a:初めて触れる画材に慣れ、効果を理解している。<br>b:外光下での自然物をよく観察し、作画方法を練っている。<br>c:対象物の「らしさ」を見つけ出し主体的に美術の幅広い創造活動をしようと取り組もうとしている。 | 作品 | 合評<br>レポート | 観察<br>振り返りシート |
| | | 粘土で彫刻する | a:自然物を彫塑・造形し、リアルな色彩に彩色する事で三次元的な拡がりを理解している。<br>b:立体物に生じる陰影による、色彩の変化について構想を練っている。<br>c:適度なサイズ感をもった立体を制作しようと取り組んでいる。 | 作品 | 合評<br>レポート | 観察<br>振り返りシート |
| 二学期 | パステル画 | パステルを使って黒い紙に描く | a:黒いケント紙に明暗や色彩を考慮しながら対象を描写することで、「明度・彩度」を理解している。<br>b:実際の対象物と作画の際のイメージを照らし合わせて表現を練っている。<br>c:創意を工夫し、主体的に美術の幅広い創造活動を考え、美しい表現をすることに取り組もうとしている。 | 作品 | 合評<br>レポート | 観察<br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 映像メディアを使ってドローイングを表現する。 | a:映像を観た後、感じた印象をドローイングする事で表現上の「動き」を理解している。<br>b:物体の動きについての見方や感じ方を深めている。<br>c:対象をよく観察し、自分の表現に生かそうと取り組んでいる。 | 作品 | 合評<br>レポート | 観察<br>振り返りシート |
| | 手の着彩画 | アクリル絵の具で手を描く | a:補色関係について理解している。<br>b:人体の複雑な形や色彩について観察し、作画計画を練っている。<br>c:身近な素材を新しい観点で表現し、主体的に美術の幅広い創造活動をすることに取り組もうとしている。 | 作品 | 学習プリント | 観察<br>振り返りシート |
| 三学期 | パース(遠近法) | 一点透視図法で教室を描く | a:大きなサイズの対象物を拡がりのある表現で捉えることを理解している。<br>b:図法について演習し、作画の方法を練っている。<br>c:プロ作品を参考にしながら、主体的に美術の幅広い創造活動を捉え、自身のオリジナルな表現に取り組もうとしている。 | 作品 | 小合評<br>学習プリント | 観察<br>振り返りシート |
| | 油彩画 | 油彩でキャンバスに描く | a:画材に慣れ、その性質を理解している。<br>b:テーマを決め最適な表現をしようと計画を練っている。<br>c:主体的に美術の幅広い創造活動を捉え、他の画材にはない新しい感覚を生かす工夫と、同時代性を表現することに取り組もうとしている。 | 作品 | 学習プリント<br>レポート | 観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度